

## 平成 29 年度第 1 回生田原地域まちづくり会議録（要旨）

- 日 時 平成 29 年 8 月 4 日（金）18 時 35 分～20 時 30 分
- 場 所 生田原総合支所第 1 会議室
- 出 席 舟木会長、杉本副会長、遠藤委員、大柳委員、多賀委員、堀江委員、由利委員、渡部委員、和田委員
- 欠 席 高橋委員
- 町出席者 総務部企画課 佐藤課長、中原主幹、松村係長、生田原総合支所 門脇支所長
- 会議内容（主な発言を収録。発言内容は要約している。）

## 1 開会

18：35 開始 佐藤企画課長

## 2 会長あいさつ

（舟木会長）出席についてお礼。任期 2 年で今年は 2 年目、活力に満ち、豊かさが実感できる住みよい遠軽町を実現するためにこの会が立ち上げられている、皆さんの意見を集約しながら、町長に提言することになっている。皆さんの建設的な忌憚のない意見をいただきたい。このような大役は不慣れなので、皆さんのお力をお借りして務めてまいりたい。

（佐藤課長）任期については、平成 31 年 3 月 31 日までとなっているので御理解をお願いしたい。

## 3 平成 29 年度生田原地域まちづくり会議の進め方について

資料 1 に基づき、中原主幹説明。質疑等なし。

## 4 町からの話題提供

資料 2 に基づき、佐藤課長説明。質疑等なし。

## 5 まちづくりワークショップ

ワークショップの進め方については、資料 3 に基づき中原主幹から説明。

（大柳委員）生田原地域のことを考えるのに自分たちの考えだけでいいのか。

（中原主幹）まずは、そういうことで出してほしい。

（大柳委員）これをまとめて町長に出すのであれば、地域の言葉を聞かないと。責任重大。

（中原主幹）ここで話し合ったこととして町長に出してもらえればいいので、そこまで考えずに意見を出していただく。そのあとで、地域の意見を聞いた方がいいのじゃないかなとなれば、そうしていく。

（大柳委員）それは逆。地域の意見を私たちが聞いて上げて行かなくては。

（中原委員）そういう風に考えないでやろうというのが、今日の提案。

（大柳委員）会長何かあるか。

（舟木会長）ひとつはある。

（中原主幹）まずは自由な発想でネタを出す。数をたくさん出した上で整理をしていくと

いうのをやっていただきたい。

(舟木会長) 任期もあと2年あるので、そういうものはまた来年出すというのでもいい。

とりあえず今はテーマが出ているので、とりあえずそれぞれの主観で考えたことを上げてもらっていいのではないか。

(中原主幹) あまり皆の意見を・・・となると書けなくなるので。

(大柳委員) 町政懇談会と一緒に考え方をしないと、町長にどうやって持っていくのか。

生田原地域まちづくり会議の意見です。でいいのか。

(佐藤課長) 皆さんは、職業や経験などで知識をお持ちの方なので、その方々の御意見ということで構わない。地域を背負って地域の代表だという意識は持たないで日頃考えていることを書いていただければ、それをまとめて委員の皆さんの意見として上げる。

(舟木会長) そういったことでテーマを与えられているから、とりあえずやってみよう。

それで何かあったら、また来年に向けて検討していくことにする。町政懇談会は町政懇談会として、地域の要望などをぶつけていけばいい。

(佐藤課長) 地域を代表してとなると、町政懇談会と変わりなくなってしまうので、皆さんの個々の御意見を出していただきたい。というのがこのまちづくり会議の目的。

(中原主幹) もうちょっと自由な発言を通して、地域の課題を町長に伝えられればという・・・。

(佐藤課長) ある程度皆さんから出された意見について、また皆さんで揉んでいただき、いろんな御意見、いろんな角度から意見を頂ければと思っている。町政懇談会ではなかなかそこまで行かないので発展的な意見を聞きたい。

(中原主幹) どうしても町政懇談会という形だと、町にこれをやってくださいという感じになってしまうが、もうちょっと建設的なものを期待したいと思っている。

(舟木会長) いろんな発想からいいものが出てくる可能性もある。

(由利委員) 困りごとに対する解決策を示さないとだめか。困りごとだけでよいか。

(中原主幹) どちらでもよい。

(杉本委員) 地域となるとなかなか書けない。個人的なものなら書けそうだが。

(中原主幹) とりあえず個人的なものでも構わない。そういうことは、一回発表したあとにやりましょうというのが今回の進め方。

以上のような議論のあと、5分間の個人ワーク、個人ワークの結果発表、意見交換を行った結果、次のような意見が出された。

(イベント・観光)

- ・交流人口を増やしたい。
- ・イベントのリーダーの人材が足りない。老人と若者が交流するイベントがあるとよい。漬物作り、鹿のウォッチングなど

- ・子どもが主役のイベントあるといい。
- ・イベントスタッフが高齢化している。
- ・3地区のイベントにつながりを持たせたい。イベントスタンプラリーでつなぐ。
- ・ほかのイベントとかぶっているのでヤマベまつりの日程を移動した方がよい。
- ・遠軽町全体でできるイベントがほしい。
- ・イベントを継続・新設したい。
- ・金山の活用。
- ・生田原にもゆるキャラを作る。
- ・夏フェス、ロックフェスがやれるといい。
- ・食・温泉のあるところに人は来る。ノースキングのレストランが充実し増収増益。
- ・自分のところだけでは良くならない、連携して盛り上げることが必要。
- ・町民なのにコスモスが見れない。
- ・瞰望岩は飛び降りが多い。子供が目撃するとショックを受けるのではないか。逆転の発想としてロッククライミングで活用したら目が行き届いて飛び降りする人がいなくなるのではないか。
- ・新しいこと（よそもの）を受け入れない雰囲気がある。出る杭が打たれる。

#### (人材)

- ・人口減少が進展している。
- ・ママさんたちが伸びやかに活動できる地域に。
- ・人手不足。雇用対策が必要。
- ・自治会のリーダーのなり手がいない。
- ・地域おこし協力隊を生田原地域にも配属してほしい。

#### (子育て)

- ・子供の医療費を無償化してほしい。
- ・学童保育の時間が遠軽地域より短い。現行の17時までを18時までにしてほしい。
- ・給付型奨学金制度を作してほしい。
- ・子供の遊び場がほしい。ちゃちゃワールドの2階は夏場暑い。紋別や網走の道立公園のようなどころに行ってしまう。
- ・お母さんたちが活躍するまちにしたい。

#### (くらし)

- ・公共交通が不便。
- ・買い物するところが少ない。
- ・食事するところが少ない。

#### (インフラ・環境)

- ・防災用放送設備が故障しているのに修理されない。愛の鐘も落雷で故障したまま直していない。

- ・お墓を管理する人が減っている。生田原地域共同墓地ができないかという声がある。
- ・空き家が目立つ、対策が必要。
- ・河川改修工事によって町の魚にもなったヤマベが住めなくなってしまう。防災の面からも河川改修工事すべてを否定するわけではないが、環境に配慮したバランスの取れた工事を。足立橋の手前から安国中学校の裏手まで。道のガイドラインも無視してやっている。
- ・外来生物ミンクが野生化している。
- ・使えないピノキオハウスの多目的ホールが放置されている。どうするのか。

(コミュニケーション)

- ・会議で発言しない(後で陰で言う)。昔からの地域の悪い体質がある。
- ・役場職員が何をしたいかよくわからない。外来動物を持っていても対応しない。
- ・合併してしばらく経つが一体感がない。他の地域の情報が入ってこない。全体像が見えない。
- ・遠軽町がもっと仲良くして、子育てしやすい地域になってほしい。
- ・安国と生田原の交流・連携を進める。安国からヤマベまつりに来てほしい。

(農業)

- ・高橋委員が欠席で農業分野の意見が乏しい。もっと取り入れるべき。
- ・農家民泊みたいなことを検討してほしい。
- ・町営の牧場が利用されず遊休地になっている。使わないなら木を植えるなどした方がよい。平日夜に開催する。

## 6 今後のスケジュール

もう1回地域会議を開催する。9月半中旬以降に会長及び副会長が相談して日程を決める。今回の議事録を企画課でまとめてお送りする。全体会議でだれがどうやって発表するかまで検討する。

## 7 平成30年度以降のまちづくり会議のあり方について

各自持ち帰って次回協議する。

## 8 その他

特になし

## 9 閉会

20:30 終了